



SDGs 達成に向けた取組み

海ごみ削減に向けた取組み



目的・背景

未来につなげる豊かな海を守るため、海ごみ回収など行いました。海ごみ回収をシーカヤックで行い、自然と直接触れることで環境問題に当事者意識がより高まり、海ごみ問題解決に向けた取組みになると思い、事業を実施しています。また、食を育む地方の産業を知ってもらうことで、豊かな食を未来につなげることに貢献できたらと思ひ、養殖現場の見学なども実施しました。



シーカヤックでの海ごみ清掃



具体的な取組内容

- 2月4日 呉海岸海ごみ掃除参加
- 2月23日 岡山海ごみフォーラム出展
- 4月24日 宇和島東高校
シーカヤック海ごみ掃除実施
- 6月25日 ANAグループ社員・ライブコマーサー
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 8月12日 兵庫県家族（5名）
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月3日 愛媛大学
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月11日 人間環境大学
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月21日～23日 宇和島エシカルプロジェクト（県内外中学・高校・大学）
シーカヤック海ごみ掃除・地域体験受け入れ
- 9月24日 愛媛大学
漁場見学実施
- 7月10日・10月20日 埼玉高校生修学旅行
シーカヤック海ごみ掃除実施

成 果

- ①海ごみの現状を直接に伝えることができた。
- ②合計 50 名ほどが参加していただき、地方・環境に配慮することの重要性を普及。
- ③県内外の関係・交流人口の増加につながった。

シーカヤックで自然と触れ合いながら、リアルな現場（海ごみ・地方の暮らしなど）を体感することで、宇和島の自然環境知識・水産業知識の習得、地域づくりを考える機会ができ、学生・社会人としての経験として、持続的な未来を目指す上で学びを得ることができたのではないかと思います。また、多様な関係者との交流・関係が生まれ、豊かな海を守り続けることや経済活動の活性化・新しい考え方や価値を生み出すことなど、地域活性化につながっていく取組みにもなったと思います。

担当者の思い

実際に自分が主となって事業を行うことで環境に対する意識の向上につながるとともに、第三者目線で見る地方の良いところ・悪いところを知ることができました。また、若者世代との交流の輪が広がり自社の認知度アップ・今後の事業の役に立てるのではないかと思います。

〈営業部長 高木 元〉